



手根管開放術

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

手根管開放術 手術説明

- 1.手根管開放術について
- 2.予定している手術と方法
- 3.治療の流れ
- 4.手術前の検査・麻酔について
- 5.手術当日の流れ
- 6.入院に関すること
- 7.手術後の経過
- 8.手術によって起こりうる症状について
- 9.手術によって期待される効果と限界について

1. 手根管症候群について

- 症状

親指から薬指の親指側の指先にしびれや痛みが出ます。明け方に症状が強く、痛みで目を覚ます場合もあります。症状が進むと感覚が鈍くなったり、親指の付け根の筋肉（母指球筋）が痩せて細かいものがつかみにくくなります。



親指の付け根の筋肉
(母指球筋) が痩せた方

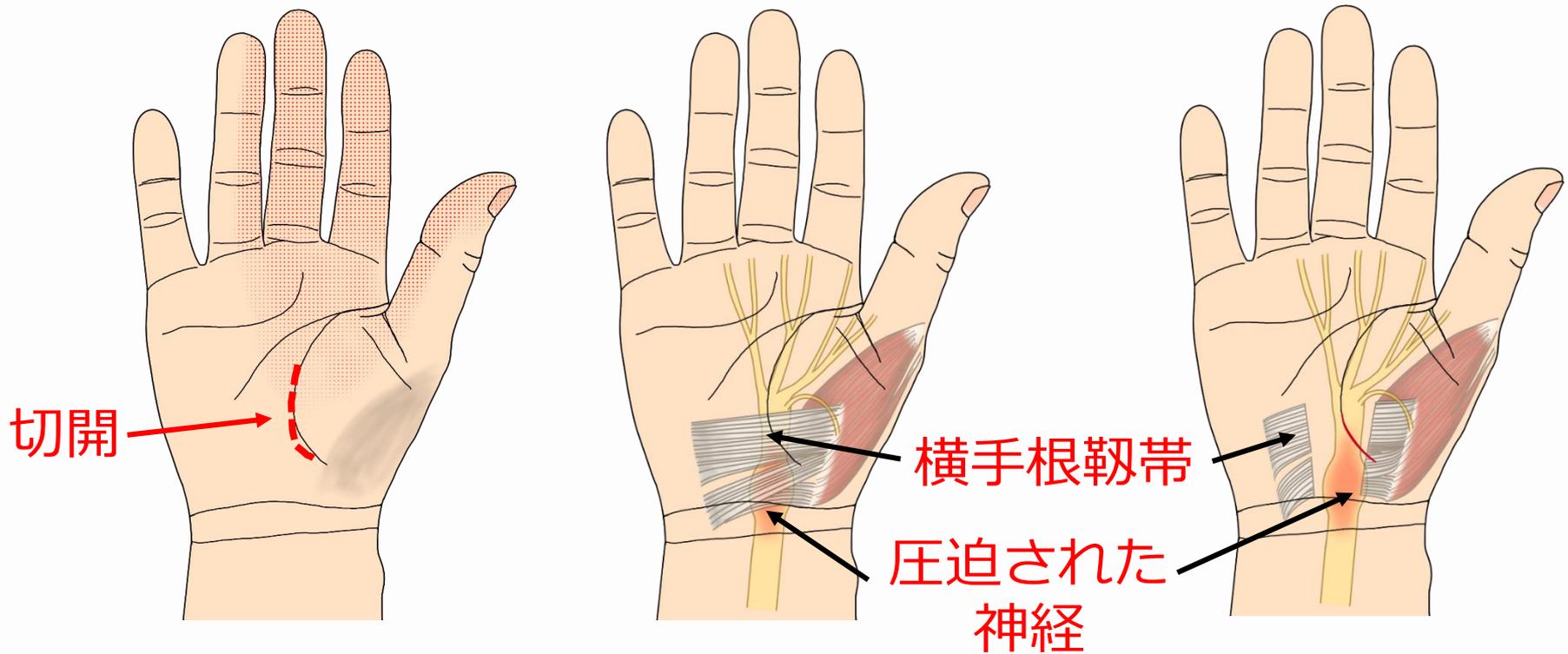


母指球筋

より正確な診断のために、レントゲン撮影やCT撮影、神経伝導速度検査を行う場合があります。

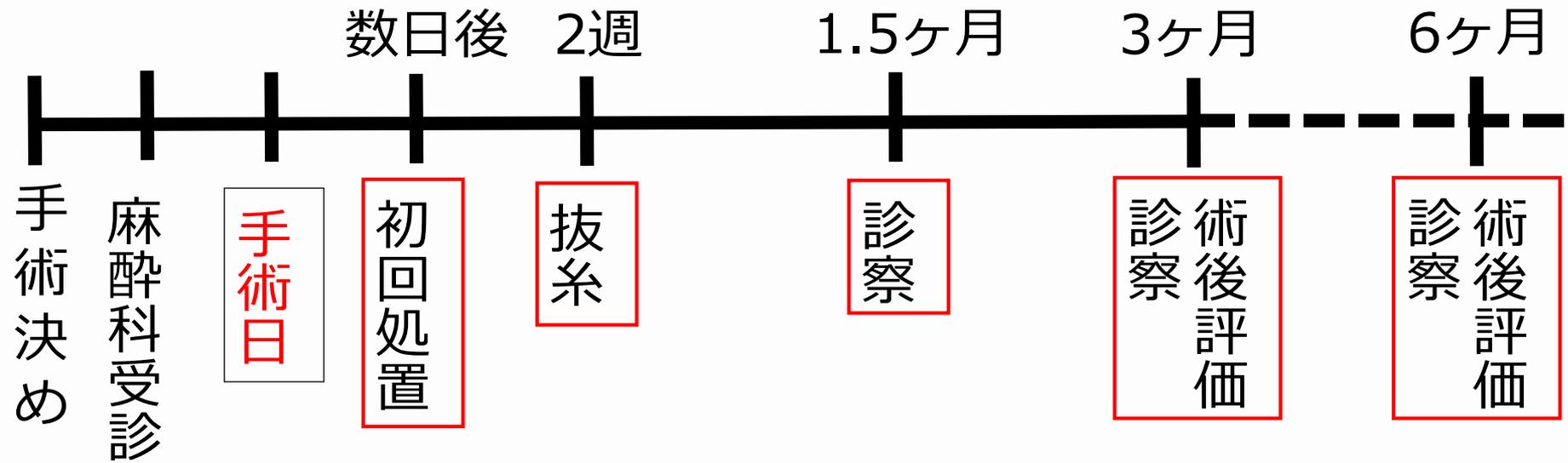
2. 予定をしている手術と方法

手根管開放術



手のひら2cm程度の小切開から神経の圧迫を取り除きます

3.治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリは基本的にはありません。診察時に術後評価を行います。

4. 手術前の検査・麻酔について

■ 必要な検査

術前検査があります。

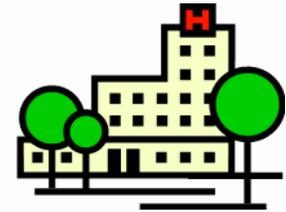


詳細については
麻酔科受診時に
麻酔科医師より
説明があります

■ 麻酔法

全身麻酔(静脈麻酔)+末梢神経ブロック

5. 手術当日の流れ



必ず指示された時間に1Fの受付にお越しくください。

担当者がご案内いたします。

- 当日は食事・水分摂取に制限があります。
- 血液のサラサラにするお薬をお飲みの方は、事前に休薬する必要があるためお知らせ下さい。

6.入院に関すること

- 手術当日の入院で**1泊2日**の予定です。
 - 手術中、ご家族は宿泊室でお待ちください。
 - 当院は全て個室対応となります。
 - 入院費用は、3割負担概算にて**7~8万円**程度かかります。
- ※手術で実際に使用した材料や術式により費用が異なる場合があります。



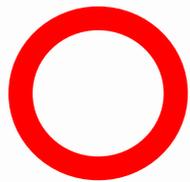
利き手を手術された方の食事です

7.手術後の経過

【活動について】

- ・手術後は動かすことに制限はなく、よく動かしていただきます。書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- ・重い物を持つ、スポーツなどの動作は、術後1ヶ月以降から痛みに合わせて開始して下さい。

術後約1ヶ月以降から
痛みに合わせて開始しましょう



痛みに合わせて行いましょう



8.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。術後2～3日をピークに徐々に赤みや熱は引いていきますが、むくみの腫れは残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、

高挙手（手を心臓より高く挙げる） や、保冷材などを使った**アイシング（冷やすこと）** を積極的に行ってください。

しびれ

手術をしても、すぐにしびれがなくなるわけではありません。ダメージを受けた神経は術後6ヶ月～1年以上かけて徐々に回復していきます。

8.術後に起こりうる症状について

キズ周囲の硬さ

キズが治る過程で、術後1.5~2ヶ月をピークにキズ周りが硬くなり、その後徐々に柔らかくなります。手術後すぐは手をつく動作も難しいですが、術後3ヶ月くらいすると痛みが軽減するため、痛みに合わせて徐々に開始して下さい。また、キズ周りのマッサージは痛みに合わせて行って構いません。

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきます。

8.術後に起こりうる症状について

手の使いにくさ

手術後から軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があります。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！

9.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

指先の痛みやしびれの症状は徐々に軽減します。通常、術後6ヶ月～1年かかります。また、親指の付け根の筋肉（母指球）も徐々に回復してくると、物がつまみやすくなります。筋肉の回復には、通常1年以上かかります。



➤ 限界

手術後の回復は神経の状態によって異なります。神経が強いダメージを受けている場合は、完全にしびれが取れなかったり、親指の付け根の筋肉（母指球）が回復しない場合もあります。その際は、術後1年以上経過を追わせていただく場合があります。